# 消費者、事業者等に対する知識の普及啓発等

資料２－２

## これまでの施策に係る意見や課題

・地域連携の強化も取組みの幅を広げるうえで重要ではないか。
・SNSを用いた食品ロス削減の啓発についても閲覧数などにも着目して効果的に進めるとよい。

## 令和８年度の主な取組み

### 「食べきり3015運動」推進と「食べきりサイズメニュー」導入促進

＜目的＞

宴会等での「食べきり3015運動」推進や、飲食店での「食べきりサイズメニュー」の導入促進を図り、外食産業における食品ロス削減につなげる。

＜実施内容＞

・県内全域の飲食店に協力店としての登録を働きかける。
食品ロス削減月間である10月に重点的に実施。
・協力店はポスターや三角柱等の啓発資材の設置と来店者への呼びかけを行う。
・随時新規登録店や既存の登録店の紹介を県HPやSNS（Instagram）を用いて行う。
・R8は「おいしい食べきりフォトコンテスト」を開催し、消費者に対しても外食時における料理の食べきりの普及啓発を行う。



sukkiringo_chan
【Instagramアカウント】




【食べきり3015運動ポスター】




【食べきりサイズメニューポスター】




【協力店募集チラシ】

### とやま環境未来チャレンジ事業での環境学習

＜実施内容＞

県内の小学４年生を対象に、家族とともに家庭で食品ロス削減を含む地球温暖化対策に取り組む事業を実施する。（Ｒ７年度実績　73校、3,667人）

### 食ロスゼロアクション推進事業

＜目的＞

食品ロスに取り組む人の割合向上のため、買い物、保存、調理等の各段階での具体的な実践内容を普及啓発する。

**①食品ロス問題の認知及び具体的な削減行動を訴求する動画の配信**

＜実施内容＞

○フードドライブ訴求動画（ショート版）の制作
○YouTubeデジタル広告による動画配信（Ｒ８．９～11月）
※Ｒ７よりも広告回数を倍増




【食品ロス削減啓発動画】
R7年度　約10万回閲覧

**②ウェブサイト内特設ページ制作**

＜実施内容＞

・普及啓発動画、野菜保存方法、使いきりレシピ等の紹介

**新③小売店舗、イベント等での普及啓発**

＜実施内容＞

・食材売り場に、保存方法、レシピ等の役立つ情報と併せて特設サイトに誘導する啓発資材（カード）を設置
・主に親子連れ向けの啓発資材（シール）を活用したイベント会場での啓発





【とやま食ロスゼロ作戦HP】

**○食品ロス削減推進サポーター育成講座（消費者庁）の受講支援**

サポーター登録数　57名（Ｒ８年度８月時点）

今後のブース出展（予定）

・とやま環境フェア2026
令和８年10月24日（土）、25日（日）・富山産業展示館（テクノホール）東館

## 今後に向けた取組みの方針

- 県内の飲食店や各団体と連携し、食べきり3015運動や食べきりサイズメニューなどの取組みをより一層推進する。
- SNS等を活用し、食品ロス等削減のための取組みへの意識・行動率が低い世代等に重点化した効果的な普及啓発を実施する。
- 行政や関係団体、事業者の取組みを継続的に情報発信する。